

次期「三重県教育ビジョン（仮称）」中間案に対するパブリックコメントの結果概要

1 意見募集期間

平成27年10月16日（金）～平成27年11月16日（月）

2 意見内容（詳細は別添資料4）

（1）意見数

96人（団体）の方々から228件の意見をいただきました。
（同じ内容の意見を1件と数えると、120件に整理されます。）

（2）意見提出の方法

電子メール	F A X	郵送	合計
59	33	4	96

（3）項目別意見数（延数）

項 目	意見数
全体的な意見	11
第1章 総論	3
第2章 基本施策	1
第3章 施策	193
1 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	77
2 人との絆や自然との関わりの中で伸びゆく豊かな心の育成	13
3 健やかに生きていくための身体の育成	15
4 自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進	12
5 笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	10
6 地域に開かれ信頼される学校づくり	64
7 多様な主体による教育の推進と文化財の保護	2
第4章 重点取組	20
第5章 ビジョンの実現に向けて	0
合計	228

(4) 対応状況

対応区分	件数 (延数)
①最終案に意見や提案内容を反映させていただくもの	24 (67)
②意見や提案内容が既に反映されているもの	36 (49)
③最終案や今後の取組の参考にさせていただくもの	52 (101)
④反映または参考にさせていただくことが難しいもの	7 (10)
⑤その他 (①～④に該当しないもの)	1 (1)
合計	120 (228)

3 主な意見

(1) 数値目標

- ・県内一律の目標を立て取り組むのではなく、各学校の実態に応じ、工夫した取組を進めるべきである。また、児童生徒に「結果」を求めるのではなく、三重県が講じる「手立て」に対する目標を示すべきである。(意見番号 1, 2 他)
- ・全国平均と比較する相対的な指標は、「人より上であることがよい」というメッセージを子どもたちに送ることにならないか。(意見番号 3, 106)

(2) 各施策に対する意見

「学力の育成」、「外国人児童生徒教育の推進」、「幼児教育の推進」、「開かれた学校づくり」、「教職員が働きやすい環境づくり」への意見が多くありました。

○学力の育成

- ・アクティブ・ラーニングについては、賛否両論ある。より効果的に取り組むための具体的な手立てを明記すべきである。(意見番号 13 他)
- ・継続的な学習状況の把握や授業改善は大切であるが、その手立てを「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」「ワークシート」に限定することは、施策としての可能性が狭まってしまわないか。
(意見番号 15 他)

○外国人児童生徒教育の推進

- ・母語の習得支援や、就学や修学のための相談体制や救済制度の充実が必要である。(意見番号 27, 28)

○幼児教育の推進

- ・生活習慣を身に付けられるようにするには、チェックシートの取組だけでなく、困難を抱える家庭への支援のシステムづくりが必要である。(意見番号41)

○開かれた学校づくり

- ・土曜日の活用については、「土曜授業」にこだわることなく、地域や家庭での子どもの居場所づくりを支援することを主眼とするべきである。
(意見番号86他)

○教職員が働きやすい環境づくり

- ・総勤務時間の縮減や休暇取得に向けて、より一層の取組が必要である。
(意見番号91,97他)
- ・総勤務時間や休暇について数値目標を設定するべきである。(意見番号99)